



図2. 対流圏上空(高度1万メートル付近)におけるAL-ILシーズンの典型的パターン(上図)と卓越する変動パターン(下図)

- ・ 上図は対流圏上空の250ヘクトパスカル面高度場における、AL-ILシーズンに伴う循環変動を示した図。北極上空から見下ろした図。図の中心は北極点で、「架け橋」は手前から右上へ架かる(参考2の下図に対応)。
- ・ 左下図は、寒候期(11月~4月)に北半球対流圏上空の循環で最も著しい経年変動パターン。これは上図のAL-ILシーズンのパターンと良く似ている。
- ・ 但し、観測された変動からシーズンに伴う成分を予め人為的に差し引いた残りの変動には、「北極振動(北極域と中緯度大西洋間の気圧の南北振動)」が捉えられる(右下図)。